

平成29年度 乳がん検診のご案内

■ 乳がんマンモグラフィ検診（集団検診で実施）

乳がんマンモグラフィ検診とは、乳房のX線撮影で、専用の装置やフィルムを使用し、触診では診断できない小さなしこりや、しこりになる前の石灰化した微細な乳がんの発見に威力を発揮する検査です。ただし、乳腺の密な若い人の場合は、しこりを見つけることが難しいことがあります。また、X線撮影のため、妊娠している人には適しません。

【 対 象 】 **満40歳以上の女性(検診日現在)**

【 検診日程 】

検 診 日	申込締切日	検診会場	検診時間	定 員
平成29年 8月 4日 (金)	6月22日 (木)	終了しました		
平成29年 8月 24日 (木)	7月 6日 (木)			
平成29年 9月 22日 (金)	8月 3日 (木)			
平成29年 10月 5日 (木)	8月24日 (木)			
平成29年 10月 20日 (金)	9月 7日 (木)			
平成29年 11月 10日 (金)	9月28日 (木)			
平成29年 11月 24日 (金)	10月19日 (木)			
平成30年 3月 2日 (金)	30年1月25日	南光文化センター	9~12時、 13~15時	100名

※ 申込締切日までに定員に達した場合には、申し込みを締め切らせていただきます。
お早めにお申し込みください。

【 料 金 】 **1,500 円**

※ 無料の対象のかたには、「無料クーポン券」を送付しています。
対象者については、次ページをご覧ください。



【 申込方法 】 下記の申込書に必要事項をご記入の上、健康福祉課（役場第一庁舎西館）、各支所・出張所に、提出してください。また、電話やFAXでのお申し込みは、健康福祉推進室までお願いします。

【 お問い合わせ 】 **健康福祉課 健康福祉推進室**
電話 82-0661 FAX 82-0144

平成29年度 乳がん検診 申込書 (申込日： 月 日)

ふりがな 氏 名	郵便番号・住 所 電話番号	生年月日 (年齢)	乳がん検診 希望日
	〒 679- 佐用町 番地 電話番号	大正 昭和 年 月 日 (満 歳)	月 日
保険証区分	町国保 ・ 後期高齢 ・ 他保険 ・ 生保	※ 受診対象は40歳以上	

平成29年度 乳がん検診 申込書 (申込日： 月 日)

ふりがな 氏 名	郵便番号・住 所 電話番号	生年月日 (年齢)	乳がん検診 希望日
	〒 679- 佐用町 番地 電話番号	大正 昭和 年 月 日 (満 歳)	月 日
保険証区分	町国保 ・ 後期高齢 ・ 他保険 ・ 生保	※ 受診対象は40歳以上	

■ 乳がん視触診検診（町内の検診実施医療機関で受けることができます）

視触診は、医師が左右の乳房に差がないか、胸のしこりやひきつれがないかなどをチェックします。左右の胸だけでなくわきの下も触ってリンパ腺の腫れなどを調べます。

【 対象 】 満30歳以上の女性

（集団検診によるマンモグラフィ検診を受診されたかたも、受診できます。）

【 検診実施医療機関 】

佐用共立病院	佐用町佐用1111番地	電話 82-2321
佐用中央病院	佐用町佐用3529番地3	電話 82-2154
尾崎病院	佐用町上三河141番地4	電話 77-0221

【 料金 】 970円

※ 70歳以上のかたは、無料です。

※ 「無料クーポン券」は利用できません。

【 申込方法 】 検診日時や時間など、各自で直接、医療機関に確認し、予約してください。

★★ 無料クーポン券送付対象者 ★★

平成29年4月20日時点で、佐用町に住所を有するかたで、次の条件に該当するかたです。年齢は平成29年4月2日時点での満年齢で表記しています。

対象年齢	対象生年月日	対象条件
40歳	昭和 51 年 4 月 2 日～昭和 52 年 4 月 1 日	全 員
41歳	昭和 50 年 4 月 2 日～昭和 51 年 4 月 1 日	左記の年齢のかたで、前年度（平成28年度）に乳がんマンモグラフィ検診を受けたことのないかた
42歳	昭和 49 年 4 月 2 日～昭和 50 年 4 月 1 日	

★★ 豆知識 ★★（厚生労働省「がん検診手帳」より抜粋）

「乳がん」ってどんな病気？

乳がんは、乳房の中にある乳腺（母乳をつくる場所）にできる悪性腫瘍で、乳がんの発生や増殖には、「エストロゲン」と呼ばれる女性ホルモンが深くかかわっています。特に40歳代後半にもっとも多く発生しています。乳がんの半分近くが、乳首より上の外側にできます。乳がんは、女性にできるがんのなかで一番多く年間50,000人が、乳がんになり、年間約10,000人が乳がんのため亡くなっています。乳がんだけで交通事故死の2倍のかたが亡くなっているのです。けっして他人事ではありません！しかし、乳がんになっても、多くのかたは、治療により、乳がんを克服したか、あるいは克服しつつあるということになります。すなわち乳がんは、他のがんの中でも比較的性質のよい、治りやすいがんであるということができます。乳がんを早期に発見できれば、乳がんの死亡者数を低下させることは十分可能です。この早期発見のために検診が果たす役割は非常に大きいのです。